



今日は、二十四節気の大雪(たいせつ)。雪が盛んに降りだす頃という時季ですが、今年は小春日和となりました。

昨日は、スマホ・ケータイ安全教室が行われました。どんなことを考えたか?ご家庭でお話がありましたか? 保護者の皆さんも参加していただきました。ありがとうございました。

アメリカの教育学者 ドロシー・L・ノルテ の詩を紹介します。
親として、教師として、子供達に接するものとして、とても示唆に富む詩だと感じています。

子どもは大人の鏡

- 子どもは、批判されて育つと
人を責めることを学ぶ
- 子どもは、憎しみの中で育つと
人と争うことを学ぶ
- 子どもは、恐怖の中で育つと
オドオドした小心者になる
- 子どもは、憐れみを受けて育つと
自分を可哀相だと思うようになる
- 子どもは、馬鹿にされて育つと
自分を表現できなくなる
- 子どもは、嫉妬の中で育つと
人をねたむようになる
- 子どもは、ひけめを感じながら育つと
罪悪感を持つようになる

- 子どもは、辛抱強さを見て育つと
耐えることを学ぶ
- 子どもは、正直さと公平さを見て育つと
真実と正義を学ぶ
- 子どもは、励まされて育つと
自信を持つようになる
- 子どもは、ほめられて育つと
人に感謝するようになる
- 子どもは、存在を認められて育つと
自分が好きになる
- 子どもは、努力を認められて育つと
目標を持つようになる
- 子どもは、皆で分け合うのを見て育つと
人に分け与えるようになる
- 子どもは、静かな落ち着きの中で育つと
平和な心を持つようになる
- 子どもは、安心感を与えられて育つと
自分や人を信じるようになる
- 子どもは、親しみに満ちた雰囲気の中で育つと
生きることは楽しいことだと知る
- 子どもは、まわりから受け入れられて育つと
世界中が愛であふれていることを知る

